

# SCHEDULE

東京都写真美術館展覧会スケジュール

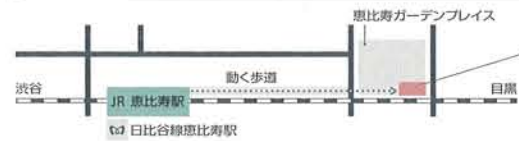
| 2007 | 3F展示室  | 2F展示室   | B1F映像展示室  | 1Fホール  |
|------|--|---|---|--|
| 11   | <br>「昭和」写真の1945-1989<br>第4部 50年代以降<br>「オイルショックからバブルへ」<br>10月20日(土)～12月9日(日) | <br>東松照明 Tokyo曼陀羅<br>10月27日(土)～12月16日(日)             | 写真新世紀東京展2007<br>11月3日(土・祝)～11月25日(日)  | <br>カルラのリスト<br>11月10日(土)～11月30日(金)                    |
| 12   | <br>土田ヒロミのニッポン<br>12月15日(土)～2月20日(水)  | <br>日本の新進作家 vol.6<br>スティル/アライヴ<br>12月22日(土)～2月20日(水) | 第8回上野彦馬賞展<br>12月1日(土)～12月9日(日)  | <br>MAGNUM PHOTOS<br>世界を変える写真家たち<br>12月1日(土)～1月18日(金) |
| 2008 |  |   | 映像をめぐる7夜<br>2/21～24・2/28～3/1  | <br>ハーフェズ<br>ヘルシャの詩(うた)<br>1月19日(土)～                  |
| 1    | <br>痙攣する美<br>写真とシュルレアリスム(仮称)<br>3月15日(土)～5月6日(火・祝)                         | <br>知られざる鬼才<br>マリオ・ジャコモッリ展<br>3月15日(土)～5月6日(火・祝)    | 第36回社団法人<br>日本広告写真家協会公募展<br>APAアワード2008<br>3月8日(土)～3月23日(日)                   |  |
| 2    |  |   | 100年の時を経て、<br>小川一真のガラス乾板が<br>今初めて明らかにする<br>「紫禁城最後の姿」(仮称)<br>3月29日(土)～5月18日(日) |  |
| 3    |  |   |   |  |
| 4    |  |   |   |  |
| 5    |  |   |   |  |
| 6    | 森山大道<br>DAIDO<br>RETROSPECTIVE 展(仮称)<br>5月13日(火)～6月29日(日)  | 森山大道<br>DAIDO<br>HAWAII 展(仮称)<br>5月13日(火)～6月29日(日)  | JPS展<br>5月24日(土)～6月8日(日)  |  |

## ご利用案内

- 休館日：毎週月曜日(月曜日が祝日または振替休日の場合、その翌日)、年末年始(12/29～1/1)、2/26・2/27および3/2～3/7は臨時休館
- 開館時間：10:00～18:00(木・金は20:00まで) 入館は閉館の30分前まで  
※12/28(金)は18:00まで ※1/2～1/4は11:00～18:00(展示室のみ、4階図書室は1/5より開室します。)

## 割引チケットの販売

お得な割引料金で2会場以上を自由に組み合わせてご覧いただける割引チケットを販売しております。詳しくはチケット売り場でおたずねください。

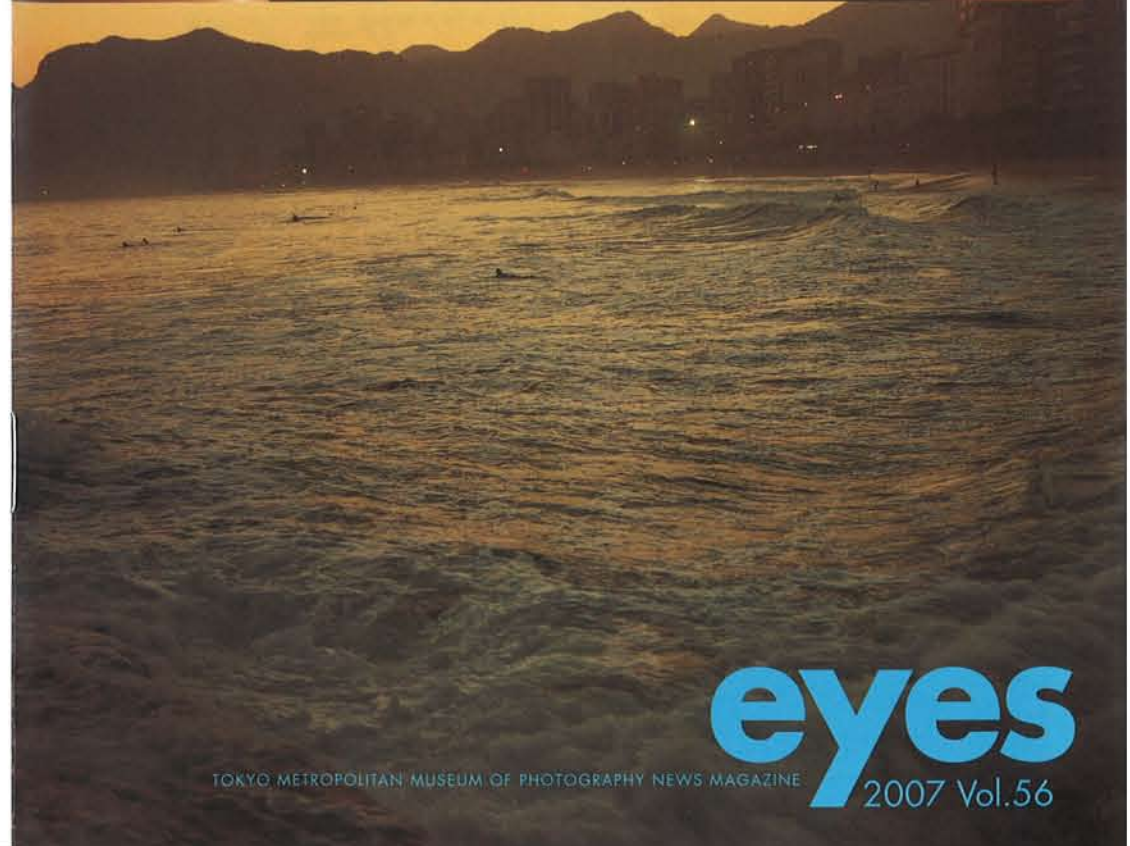


## 東京都写真美術館

〒153-0062 東京都目黒区三田1-13-3 恵比寿ガーデンプレイス内  
Tel.03-3280-0099 / Fax.03-3280-0033  
<http://www.syabi.com>

JR恵比寿駅東口より徒歩約7分※当館には専用駐車場はありません。恵比寿ガーデンプレイスの駐車場を御利用ください。

※本誌編集ページに掲載されている観覧料および商品の価格は、原則として消費税込みの価格です。  
東京都写真美術館ニュース「アイズ07」56号 ●発行日:2007年11月14日/企画・編集:東京都写真美術館事業企画課 普及係 ●印刷・製本: JTB印刷株式会社 ●発行:財団法人東京都歴史文化財団 東京都写真美術館 ©2007 ●本誌掲載の記事、写真の無断複製、複製を禁じます。



**eyes**  
TOKYO METROPOLITAN MUSEUM OF PHOTOGRAPHY NEWS MAGAZINE  
2007 Vol.56





大橋 仁 「新作より」 2007年 写真作品

Topics  
| STYL/AIVE

## 日本の新進作家 vol.6 スティル／アライヴ

当館では「日本の新進作家」として現代作家を紹介する展覧会を毎年開催しています。第6回目となる本展は「スティル／アライヴ」と題した4人のアーティストのグループ展です。そこで、見どころや作家たちの作品について石田哲朗学芸員にお聞きしました。

今回は「現代人の生と時間、その表現」がテーマです。テーマそのものは最初からあった訳ではありません。出品作家を決めていく過程で出てきたものです。最初からあったのは私自身と同世代の30代の作家たちを選ぶということと、写真だけでなく映像メディアの作家も選ぶということでした。私が最も興味あるアーティスト4人を選ぶ過程で、同世代の30代にとっての「生と時間、その表現」というテーマにたどりついたのです。同世代の30代は、いったい自分たちの「生と時間」をどうとらえているのだろうか？これが本展の作家選びの焦点となり、最も興味のある30代のアーティスト4人にお願いしました。

大橋仁さんが撮るのは嘘のない写真だと思います。すでに発表した二冊の写真集には大きなインパクトを受けました。日常の続きとして義父の自殺未遂のような惨事や産科で

分娩出産という誕生の瞬間が繰り返されていたり、何かヒリヒリした感覚をもって、生きることをリアルに描き出している。今回はタイやブラジルなどで撮影したものを中心にエモーショナルな仕上がりとなりそうです。

田中功起さんは主に映像をメディアとして国際的にも活躍している美術作家です。今回は住宅廃材を使ったインスタレーションとビール工場での瓶ビールのリサイクル過程を取材した新作映像を発表します。家を壊して建て替えるとか、飲み終わった瓶ビールがリサイクルされるとか、そういう世の中の現象や物事の流れを「フリーズ（一時停止）」させ、速度を落として見つめ直す、そういう作品です。

屋代敏博さんは自ら回転体となってその空間に溶け込む写真シリーズ「回転回」で活躍中の人ですが、今回学校を舞台に参加型のアートプロジェクト「回転回LIVE!」を行

大橋 仁 Ohashi Jin  
1972年生、写真家。東京都在住。  
日常の人々や物事を被写体として、生と死をストレートに見つめ、他者との出会いの瞬間をとらえた写真作品は、「今ここ」の強烈な感覚をもたせて見る者に訴えかける。写真集「目のまへのつづき」（1999年、青幻舎）「いま」（2005年、青幻舎）を刊行。

いました。展示作品は幼稚園から大学まで約15の学校との共同制作です。時間を共有したり、みんなで回るという参加の楽しさと同時に、「今の子どもたちにとって学校とは何なのだろうか?」ということも考えさせられます。

伊瀬聖子さんは、ミュージックビデオや高橋幸宏さんなどミュージシャンらのライブで流れる映像作品を数多く発表している映像作家です。デジタルですが、彼女の作品からは、どこか懐かしさがあり、まるでそよ風に頬を撫でられるような、そんな癒しのようなものを感じさせられます。今回は感覚の中を泳ぐような時間体験を大画面で見せる新作を発表します。

実は「スティル／アライヴ」というタイトルにはたくさんの意味合いがあります。ひとつには静止と運動のことであり、時間という観点から見た写真と映像を表している。また、直訳すれば「まだ生きている」という意味合いになります。美術館という静止した場所で、4人の作品に込められた様々な時間意識、時間表現を、展覧会に来た方、そこに関わる人々が過ごす。その時間こそが「今、ここ」に居ること。生命感が希薄な時代ですが、「それでもまだ生きている」ことを実感させてくれる体験となればいいと思います。

(いしだてつろう 東京都写真美術館・学芸員)



屋代 敏博 「回転回LIVE! 東北芸術工科大学」 2007年 写真作品



伊瀬 聖子 「Swimming in Qualia (スイミング・イン・クオリア)」 2007年 映像作品 サウンドトラック スティーヴ・ジャンセン



田中 功起  
上) 「新作のためのインスタレーションプラン」より2007年 トロローイング  
下) 「新作のためのリサーチ・フォトグラフ」より2004-2007年

田中 功起 Tanaka Koki  
1975年生、美術作家。東京都在住。  
日常的な物事に何らかの行為を介在させることによって起こる変化や出来事を映像作品と空間的なインスタレーションによって展開する。複数の映像とありふれた日用品等で構成された空間は多層的な意味の重なりや体験を生み出していく。

屋代 敏博 Yashiro Toshihiro  
1970年生、美術作家。東京都在住。  
公共空間や生活空間などの場で自分自身が回転体となる写真シリーズ「回転回」を行う。近年、そのシリーズは一般の人々と共同制作する「回転回LIVE!」に発展する。様々な場所で回転の軌跡を記録した作品の中で身体は場と同化し、または異物となり、見知らぬ他人と時間を共有する。

伊瀬 聖子 Ise Shoko  
1969年生、映像作家。兵庫県在住。  
時間の経過や外的な力によって否応なしに変化していく日常風景や物事を独特の浮遊感と時間感覚をもった映像・写真作品として提示する。スティーヴ・ジャンセン、Human Audio Spongeなど音楽家との映像によるコラボレーションを多数手がける。



2F | 2階展示室  
Exhibition Gallery

友の会割引 | 三越カード割引 | アトレカード割引

12月22日(土) ▶ 2月20日(水)  
年末年始は12月29日(土)~1月1日(火)まで休館、1月2日(水)から開館

## 日本の新進作家 vol.6 スティール／アライヴ

Contemporary Art & Photography in Japan : STILL/ALIVE

□ 一般 700(560)円 □ 学生 600(480)円 □ 中高生・65歳以上 500(400)円

( )は20名以上の団体および東京都写真美術館友の会会員、上記カード会員割引料金  
※小学生以下および障害者手帳をお持ちの方とその介護者は無料 ※第3水曜日は65歳以上無料 ※1/2は無料

○主催：(財)東京都歴史文化財団 東京都写真美術館／東京新聞 ○助成：財団法人 地域創造  
○協賛：株式会社資生堂／凸版印刷株式会社 ○協力：キヤノン株式会社／富士ゼロックス株式会社／サッポロビール株式会社

◆詳細ホームページ：http://www.syabi.com./schedule/schedule.html



歴代 敏博「回転LIVE! S高校 卒業式会場」2007年 写真作品

第6回目となる本展は「現代人の生と時間、その表現」をテーマに、写真・映像をメディアとして制作活動を行う30代のアーティスト4人に焦点をあてたグループ展となります。現代生活において、人はたえず更新される現在の速度に対応して生きていかなければなりません。一方で、次第にゆっくりとしたものの価値を見直そうとする変化も時代の流れのなかで生まれています。どのように生きるか、どのように時を過ごすかという選択はかつてより増えはしましたが、かつてのように進歩を信じることができず、個人レベルでは大人も子供もことごとく閉塞感を持ち、未来に希望を持っていない空気が漂っています。写真映像の世界での急速なデジタル化やコミュニケーションツールの発達によって、時間

体験は今や自由自在に編集可能で、当たり前のように反復し、共有することができるようになりましたが、同時にそのことが「今、ここ」に生きている感覚を希薄にしています。「時間」というものそれ自体は目に見えない観念的なものでありながら、人にとって、それぞれの生きた時間は切実にリアルなものとして感じられるはず。そんな瞬間を日常生活のなかで捉え、写真や映像で表現する作家たちは、「時」をどのようにイメージし、形にしていけるのでしょうか？本展では、作品にこめられた様々な時間意識、時間表現と、展覧会を見る人、そこに関わる人が過ごしている時間が交差し、「今、ここ」に生きている感覚を共有されることを目指します。

2F | 2階展示室  
Exhibition Gallery

友の会割引 | 三越カード割引 | アトレカード割引

10月27日(土) ▶ 12月16日(日)

## 東松照明「Tokyo曼陀羅」

□ 一般 800(640)円 □ 学生 700(560)円  
□ 中高生・65歳以上 600(480)円

( )は20名以上の団体および東京都写真美術館友の会会員、上記カード会員割引料金  
※小学生以下および障害者手帳をお持ちの方とその介護者は無料 ※第3水曜日は65歳以上無料

○主催：(財)東京都歴史文化財団 東京都写真美術館／読売新聞東京本社／美術館連絡協議会  
○特別協賛：キヤノン株式会社／キヤノンマーケティングジャパン株式会社  
○協賛：ライオン／清水建設／大日本印刷／三菱商事  
○協力：フォト・ギャラリー・インターナショナル

◆詳細ホームページ：http://www.syabi.com./schedule/schedule.html

本展「Tokyo曼陀羅」は「長崎マンダラ」(長崎県立美術館・2000年)、「沖繩マンダラ」(浦添市美術館・2002年)と、「京まんだら」(京都国立近代美術館・2003年)、「愛知曼陀羅」(愛知県美術館・2006年)と、撮影拠点をキーワードに個別のテーマ性や時代性を解体して再構成する「曼陀羅」シリーズの最後に位置するものとなります。今回は代表作に未発表作品を含めた全307点で構成。日本を見つめ、日常と一体となりながら写真との関係性を表現し続ける写真家・東松照明のまなざしの原点と現在が浮かび上がります。



「ゴールデン・マッシュルーム(1)」1990-91年 作家蔵  
「アリバイ(2) 俳優 高橋美智子」東京1971年 (東京都写真美術館蔵)

3F | 3階展示室  
Exhibition Gallery

友の会無料  
三越カード割引  
アトレカード割引

10月20日(土) ▶ 12月9日(日)

## 昭和 — 写真の1945~1989 —

第4部「オイルショックからバブルへ」昭和50年代以降

□ 一般 500(400)円 □ 学生 400(320)円  
□ 中高生・65歳以上 250(200)円

○主催：東京都 東京都写真美術館 ○協賛：凸版印刷株式会社  
○協力：恵比寿ガーデンプレイス株式会社／フォト・ギャラリー・インターナショナル／新潮社

◆詳細ホームページ：http://www.syabi.com./schedule/schedule.html

オイルショックからバブルへ突入した昭和50年代以降から昭和最後までをご紹介します。変化する社会に孕む問題を多彩に表現した作品は、昭和という時代が何であったのかを私たちに再発見させてくれることでしょう。



山内道雄  
東京 阿佐ヶ谷 1985年8月  
「街」より 昭和60(1985)年

B1F | 地下1階映像展示室  
Images & Technology Gallery

12月1日(土) ▶ 12月9日(日)

## 第8回上野彦馬賞展

九州産業大学フォトコンテスト受賞作品展

□ 入場無料

○主催：九州産業大学／毎日新聞社

◆詳細ホームページ：http://www.kyusan-u.ac.jp/hikoma/

21世紀に羽ばたく若い写真家の発掘と育成を目的とした「上野彦馬賞—九州産業大学フォトコンテスト」。第8回を迎えた今回のコンテストでは、過去最多となる一般部門1758点、高校生・中学生部門2309点の総計4067点の作品が全国から集まりました。力作ぞろいの入賞作品をどうぞお楽しみください。

◆お問い合わせ>> 毎日新聞福岡本部事業部 092-724-7203



# 文学の触覚

□ 一般 500(400)円 □ 学生 400(320)円  
□ 中高生・65歳以上 250(200)円

( )は20名以上の団体および上記カード会員割引料金 ※1/2は無料  
※小学生以下および障害者手帳をお持ちの方とその介護者は無料  
※東京都写真美術館友の会会員は無料 ※第3水曜日は65歳以上無料

○主催：東京都 東京都写真美術館  
○支援：文化庁  
○企画協力：講談社『群像』/NHKエンタープライズ  
○協力：NTTサイバーソリューション研究所/  
NECディスプレイソリューション株式会社/工作舎

詳細ホームページ：<http://www.syabi.com./schedule/schedule.html>

本展では、純文学と視覚芸術・メディアアートとの接点に焦点をあて、現代に活躍する文学作家とメディアアーティストのコラボレーションを行います。本来は読む人のイメージネーションにゆだねられる文学作品の世界を、多様なかたちで視覚化します。

展示を構成する3つのパート、①テキストを耳で聴く/目で見ると、②小説の中に描かれた風景の再現、③古典作品へのオマージュ、について、講談社『群像』とNHKエンター

プライズの企画協力を得て小説家とアーティストによる新作プロジェクトを制作し、関連事業としてトークや特集刊行を行います。

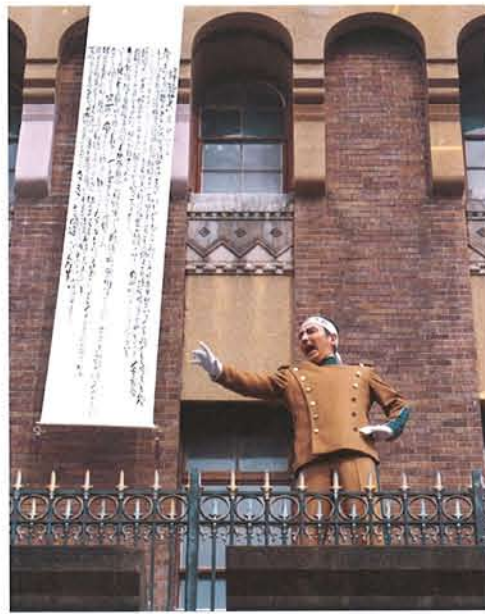
文学と映像メディアを独自の視点で結びつけ、その共存と、時には競い合う交差を通して、新たな領域と表現の可能性を開拓し探ろうという試みです。参加型の作品群に触れ、私たちの手のひらにこぼれる文学と映像メディアの美しさを体験してみましょう。



01

## 01 「情報を降らせるインタフェース」

穂村弘+石井陽子 (NTTサイバーソリューション研究所)  
現代短歌の旅手としてエッセイや短歌で恋愛の機微を描き出す穂村作品が、石井陽子による情報を降らせるインタフェースに映し出され、私たちの手の中で形をかえ、溶け合い、動き出します。



02

## ■参加予定作家/展示資料

【参加予定作家】  
川上弘美/児玉幸子/松浦寿輝/近森基++久納鏡子/平野啓一郎/中西泰人/穂村弘/石井陽子/舞城王太郎/dividual (遠藤拓己+ドミニクチェン+松山真也)/森村泰昌/森野和馬ほか  
【資料・コレクション展示】  
書籍の「紙型」(協力=工作舎)/収蔵品・貴重本「光と影の大いなる術」  
「百科全書」ほか

■関連事業  
会期中にトークやフロアレクチャーを行います。  
※イベント日程・内容等の詳細は  
12月以降ホームページにてご確認ください。



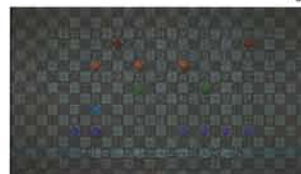
03



05



04



06



07

- 02 森村泰昌 「なにものかへのレイクイム (MISHIMA) 1970.11.25-2006.4.6」 2006年 東京都写真美術館蔵
- 06 森野和馬 「谷崎リズム」 Tanizaki Rhythm

収蔵品から、自決直前に演説する三島由紀夫の姿を演じる森村泰昌「なにものかへのレイクイム (MISHIMA) 1970.11.25-2006.4.6」を紹介するほか、谷崎潤一郎「陰翳礼賛」に想を得た森野和馬のモーショングラフィックス+映像作品「谷崎リズム」も新作公開されます。

## 03 平野啓一郎+中西泰人 「新作プロジェクト」

平野啓一郎+中西泰人  
「あなたが、いなかった、あなた」など視覚・造形的な試みを含む平野作品の世界と、VRと破壊衝動を結びつけた中西作品「Narrative Hand」のテクノロジーが、触覚・知覚に訴える新作プロジェクトです。

## 04 dividual (遠藤拓己+ドミニクチェン+松山真也) 「TypeTrace」

舞城王太郎+dividual (遠藤拓己+ドミニクチェン+松山真也)  
姿をあらわさない小説家・舞城王太郎による、記録されず粉雪のように消え去る作品とは?そして、そのプロセスとは?dividualによる、時空を超えてテキストとプロセスを共有する「TypeTrace」とあわせて紹介します。

## 05 近森基++久納鏡子 「Tool's Life 道具の隠れた正体」 2002年 東京都写真美術館蔵

松浦寿輝+近森基++久納鏡子  
光と影、映し出される像—新作「川の光」など、松浦寿輝による詩や小説の世界を、「Tool's Life—道具の隠れた正体」の近森++久納が可憐に描くインタラクティブな新作です。

## 07 児玉幸子「モルフォタワー」(撮影:高田洋三) 作家蔵

川上弘美+児玉幸子  
幻想的な世界と日常が交錯する作風で知られる川上作品と、磁力ある液体=磁性流体の有機的な造形を日常風景に組み入れた児玉によるインスタレーション作品が結びついた新作です。

※掲載されている図版はすべて参考図版です。



# 土田ヒロミのニッポン

□ 一般 500(400)円 □ 学生 400(320)円  
□ 中高生・65歳以上 250(200)円

( )は20名以上の団体および上記カード会員割引 ※1/2は無料  
※小学生以下および障害者手帳をお持ちの方とその介護者は無料  
※東京都写真美術館友の会会員は無料 ※第3水曜日は65歳以上無料

○主催：東京都 東京都写真美術館/産経新聞社  
○協賛：日鉱金属株式会社/株式会社ニコン/  
ニコンカメラ販売株式会社/エプソン販売株式会社/  
株式会社ポララ/富士フィルムイメージング株式会社  
○後援：サンケイスポーツ/タ刊フジ/  
フジサンケイビジネスアイ/izal/SANKEI EXPRESS

詳細ホームページ：<http://www.syabi.com./schedule/schedule.html>

1960年代終わりから写真家として本格的な活動を開始した土田は、日本の土俗的な文化、ヒロシマ、高度経済成長、バブル経済などのテーマを通して、変貌する日本の姿を撮り続けています。土田の視点はずねにユニークで、作品ごとに明確なコンセプトを持ち、日本という国に対する問題意識を実験的ともいえるアプローチで表現してきました。「自己表現」と「徹底的な記録」の両面を行き来することで進化を遂げてきたこの作家の作品からは、社会性と時代性を背後に日本が抱える問題を汲み取ることができます。この展覧会では東京都写真美術館が重点的にコレクションした土田作品に加え、最新作を含めた約140点で、氏の作家活動の軌跡を一堂に紹介します。混沌とした世相のなか、土田作品は日本と自己の関係を見直す何らかのヒントをくれることでしょう。



「続・俗神」-日本のまつりを記号化-(1980-2004)

「俗神」の制作を再開した時に、前回と同じアプローチでは捉えきれない時代に日本が変化していることを痛感し、カラー写真によって日本のまつりを記号的に捉える方法に行き着いた。日本の色を抽出したことによって、日本の伝統的要素が浮かび上がり、日本のルーツをたぐり寄せることができた。

→ パート1 日本人

「俗神」過去に繋がる私(1968-75)  
「砂を数える」拡大する経済 都市化する私(1975-89)  
「パーティー」バブル経済 踊る私(1980-90)  
「新・砂を数える」新世紀 Fake化する私(1995-2004)  
「続・俗神」日本のまつりを記号化(1980-2004)

→ パート2 ヒロシマ

「ヒロシマ1945~1979」(1976-79)  
「ヒロシマ・モニュメント」(1979-83)  
「ヒロシマ・コレクション」(1982-94)

→ パート3 Dailyセルフポートレート

Aging -時間を巡る私-(1986年7月~)  
(ビデオ作品、インスタレーション)



「砂を数える」-拡大する経済 都市化する私-(1975-1989)

1975年から85年まで、首都圏を中心に、日本人の群れの姿を捉えている。都市化していく日本に突出する現象を探ることにより、出生地である福井の山村を離れて都市化していく作家自身の存在を確認しようとした。



「新・砂を数える」-新世紀 Fake化する私-(1995-2004)

「砂を数える」の続編。バブル崩壊後、群れはもはや遠うかたちとして「ひとつのベクトルの方向へ動くことができなくなり、互いに距離をとって群れる姿」に変化していた。クレヨンで塗りつぶしたようなフラットな色調は、時代の無機質な感覚をリアルに表現している。



「Aging」-時間を巡る私-(1986年7月~)

1986年から毎日、自分の顔を撮り続けている現在進行形のセルフポートレート。老化問題と銘打って、大まじめにこれをドキュメントする土田の行為は、老いていくことや世の中そのものを、笑い飛ばしてもらうことが狙いのかもしれない。



2F

2階展示室  
Exhibition Gallery

友の会割引 | 三越カード割引 | アトレカード割引

3月15日(土) ▶ 5月6日(火・祝)

知られざる鬼才 **マリオ・ジャコメッリ展**  
Mario Giacomelli

□ 一般 1,000(800)円 □ 学生 800(640)円 □ 中高生・65歳以上 600(480)円

( )は20名以上の団体および東京都写真美術館友の会会員、上記カード会員割引料金  
※小学生以下および障害者手帳をお持ちの方とその介護者は無料 ※第3水曜日は65歳以上無料

○主催：カンパセーション/NADIFF ○共催：東京都写真美術館 ○後援：イタリア文化会館

◆詳細ホームページ：<http://www.syabi.com./schedule/schedule.html>

イタリア北東部のセニガリアで生まれ、生涯、ほとんどの作品をその街で撮り続けたアマチュア写真家マリオ・ジャコメッリ。彼は、戦後の写真界を代表する写真家の一人であり、欧米で高い評価を受けていますが、我が国において知られることの少ない写真家といえます。まとまった展覧会としては日本初となる本展では、「ホスピス」「大地」といった代表作はもちろん最晩年のシリーズまでも網羅し、孤高の写真表現でリアルを抽象した写真群をご紹介します。



マリオ・ジャコメッリ 「スキャン」より 1957年 ©Giacomelli estates

◆お問い合わせ≫カンパセーション 03-3233-1933

3F

3階展示室  
Exhibition Gallery

友の会割引 | 三越カード割引 | アトレカード割引

3月15日(土) ▶ 5月6日(火・祝)

けいれん **痙攣する美 写真とシュルレアリスム(仮称)**  
CONVULSIVE BEAUTY Surrealism and Photography

□ 一般 700(560)円 □ 学生 600(480)円 □ 中高生・65歳以上 500(400)円

( )は20名以上の団体および東京都写真美術館友の会会員、上記カード会員割引料金  
※小学生以下および障害者手帳をお持ちの方とその介護者は無料 ※第3水曜日は65歳以上無料

○主催：(財)東京都歴史文化財団 東京都写真美術館

◆詳細ホームページ：<http://www.syabi.com./schedule/schedule.html>

1924年の活動開幕宣言以降、アンドレ・ブルトンを中心に多彩な表現世界を繰り広げた20世紀最大の芸術運動—シュルレアリスム。それは、発祥地パリはもとより世界的な展開をみせ、純粋な視覚表現から広告、ファッションに至るまで人々の意識に深い影響を及ぼしました。本展では、写真とシュルレアリスムの関係に注目しながら、前世紀における美術表現に革命をもたらしたユニークな視覚世界をご紹介します。この壮大な芸術潮流に新たな光を当てつつ、その多面的な活動の軌跡を振り返りながら、写真の魅力に迫ります。



モリス・タパール 題不詳 1930-35年

SYABI PRESENTS

入場無料 地下1階  
展示室

# 映像をめぐる7夜

## "Seven Nights, Seven Lights"

2008年2月21日(木) - 24日(日)・28日(木) - 3月1日(土)

featuring: 足立智美 ADACHI TOMOMI / 飯村隆彦 IIMURA TAKAHIKO / 生西康典 IKUNISHI YASUNORI / 石田尚志 ISHIDA TAKASHI / 小田桐昭 ODAGIRI AKIRA / 掛川康典 KAKEGAWA YASUNORI / 狩野志歩 KANO SHIHO / 西村智弘 NISHIMURA TOMOHIRO / 山川冬樹 YAMAKAWA FUYUKI / 渡邊ゆりひと WATANABE YURIHITO + more...

さまざまな角度から「映像」を考え、実験を楽しむための新企画。  
東京都写真美術館地下1階展示室を会場に、7夜にわたり多彩なゲストを迎え、  
上映、展示、ライブ・パフォーマンス、レクチャーを日替わりで行います。  
日頃は静かな展示室が熱く揺れる7夜にご期待ください。

[第1夜]

2月21日(木) 開場18:30 開演19:00

「映像の音・音の映像」  
(上映+パフォーマンス+インスタレーション)

ゲスト: 足立智美、石田尚志

[第2夜]

2月22日(金) 開場18:30 開演19:00

「広告と／の映像」  
(レクチャー+上映)

ゲスト: 小田桐昭(オグルヴィ・アンド・メイザー・  
ジャパン取締役共同会長、チーフ・クリエイティブ・オフィサー)

[第3夜]

2月23日(土) 開場17:30 開演18:00

「映像の知覚」  
(上映+インスタレーション+パフォーマンス)

ゲスト: 飯村隆彦 ほか

[第4夜]

2月24日(日) 開場17:30 開演18:00

「フリッカー・ナイト」  
(上映+トーク ほか)

ゲスト: 西村智弘 ほか

[第5夜]

2月28日(木) 開場18:30 開演19:00

「the Voice-over ~ 内なる映像」  
(パフォーマンス+インスタレーション)

ゲスト: 山川冬樹

[第6夜]

2月29日(金) 開場18:30 開演19:00

「音と映像—恋のかけひき」  
(ライブ+インスタレーション)

ゲスト: 狩野志歩、渡邊ゆりひと ほか

[第7夜]

3月1日(土) 開場17:30 開演18:00

「光る音・響く闇」(ライブ+パフォーマンス)

ゲスト: 生西康典、掛川康典 ほか



□ 地下1階ロビーゾーンの展示は、各日10:00から開場時までご覧いただけます。  
□ 各プログラムのタイトルおよび内容は予定につき、都合により変更する場合があります。  
□ 各プログラムの定員等詳細は、決まり次第、東京都写真美術館ホームページ等で公開します。



**B1F** | 地下1階映像展示室  
Images & Technology Gallery

友の会割引 | 三越カード割引 | アトレカード割引

3月29日(土) ▶ 5月18日(日)

100年の時を経て、小川一真のガラス乾板が今初めて明らかにする  
**「紫禁城最後の姿」**(仮称)

□ 一般 700(560)円 □ 学生 600(480)円 □ 中高生・65歳以上 500(400)円

( )は20名以上の団体および東京都写真美術館友の会会員、上記カード会員割引料金  
※小学生以下および障害者手帳をお持ちの方とその介護者は無料 ※第3水曜日は65歳以上無料

○主催：朝日新聞社 ○共催：東京都写真美術館 ○特別協力：東京国立博物館

詳細ホームページ：<http://www.syabi.com./schedule/schedule.html>



「清国北京皇城写真帖」東京帝室博物館編纂 撮影：小川一真、発行所：小川一真出版部、1906年刊より (写真上) 乾清宮、撮影：1901年 コロタイプ印刷 (写真下) 太和殿宝坐、撮影：1901年 コロタイプ印刷

宇宙の中心とまでいわれ、500年に渡り栄華を極めた中国、紫禁城。1912年清朝が滅びる直前の1901年に、その姿を撮影したのが日本人写真家小川一真です。建築家伊東忠太の調査プロジェクトの下、300枚にも及ぶガラス乾板に最後の姿を収めました。

本展は、撮影当時に制作された貴重なヴィンテージプリントの所在が明らかになったことに合わせ、初めて一般公開されます。太和門、中和殿、乾清宮…美しい階調が織り成す小川の写真を、人気の中国人現代写真家、侯元超が撮影した現在の故宮の写真とともに公開します。



**B1F** | 地下1階映像展示室  
Images & Technology Gallery

3月8日(土) ▶ 3月23日(日)

**第36回社団法人  
日本広告写真家協会公募展  
APAアワード2008**

□ 入場無料 ○主催：社団法人日本広告写真家協会

詳細ホームページ：<http://www.syabi.com./schedule/schedule.html>

社団法人日本広告写真家協会が公募した「APAアワード2008」の入選作品を一堂に展示します。今年度の公募展では、昨年度1年間に、プロの広告写真家によって制作され、実際に印刷媒体などで広くとり上げられた作品を公募した広告作品部門と、「サプライズ」というテーマに沿ったオリジナル写真を作品公募した写真作品部門をご堪能ください。

お問い合わせ：社団法人日本広告写真家協会 03-3543-3387

写美の  
お正月  
2008

**新年は1月2日より開館します! 1月2日は展覧会が入場無料**

2008年1月2日(水) ▶ 4日(金)はたのしいイベントがいっぱい!

◎開館時間：1月2日(水) ▶ 4日(金)は11:00-18:00、1月5日(土)より10:00-18:00(木・金は20:00)  
※ただし、4階図書室は1月5日(土)より開室いたします。

**新春フロアレクチャー** 2F 3F

出品作家・学芸員がわかりやすく解説!

— 観覧チケットをお持ちの方はどなたでもご参加いただけます —

【2階展示室】  
「日本の新進作家vol.6  
スタイル/アライヴ」展  
日時：1月4日(金)14時～

【3階展示室】  
「土田ヒロミのニッポン」展  
日時：1月2日(水)、3日(木)14時～  
1月4日(金)13時～

土田ヒロミ  
左)「パーティ」ハブル経済 踊る私(1980-90)より  
右)「給-宿持」日本まつりを記号化(1980-2004)より



**晴れ着で回転回LIVE!** 2F

「日本の新進作家vol.6 スタイル/アライヴ」展イベント  
2階展示室「スタイル/アライヴ」展の出品作家、屋代敏博  
さんによる「回転回」作品制作  
に参加しよう! 晴れ着を着て  
グルグル回れば、あなたも素敵な  
被写体になれます。完成作品  
は展示室に展示予定です。



【日時】1月4日(金)15時～16時半  
【集合場所】1階エントランスロビー  
※観覧チケットをお持ちの方はどなたでもご参加いただけます

**おめでとう写美クイズ** 2F

クイズに答えてすてきな写美グッズをもらおう!  
毎年恒例の「写美クイズ」  
は、展覧会にちなんだクイズ  
を出題。くじ引きで素敵な  
賞品が当たります!  
(※観覧チケットご購入時にクイズ  
用紙をお渡しいたします)



【抽選場所】2階総合カウンター

**しゃび雅楽** 2F

日本の伝統音楽である雅楽で新春をお祝いします(無料)  
1月2日(水)、3日(木) 各日13時～、15時～  
【場所】2階エントランス前ロビー  
出演：橋雅友会

**写真美術館で観る映画シリーズvol.35**

右記映画をご観覧の皆様には、  
特製クリアファイルを  
プレゼントいたします。  
「MAGNUM PHOTOS  
世界を変える写真家たち」  
特製クリアファイル

**ミュージアムショップ「ナディッフ バイテン」** 1F

福袋 3,150円  
雑貨、写真美術館オリジナルグッズなど、約1万円  
相当の商品がたくさんはいたった毎年大好評の  
福袋です。(限定20個)

**カフェ「シャンブル クレール～明るい部屋～」** 1F

甘酒 1杯150円  
米どころ秋田より取り寄せた、店長こだわりの甘酒  
を新春メニューとしてご用意いたしました。



※詳細はホームページ<http://www.syabi.com>もしくは館内チラシでお知らせします。



# 1F | 1階ホール

Hall Cinema Information

詳細ホームページ: <http://www.syabi.com/schedule/schedule.html> ※時間等変更になる場合がございます。最新の情報はホームページをご覧ください。

## Film Series Vol.35 MAGNUM PHOTOS 世界を変える写真家たち

### マグナム・フォト創立60年 記念すべき年に蘇る幻のドキュメンタリー

“世界最高の写真家集団”マグナム・フォト。1999年に制作された本作では、マーティン・パーやコスタ・マノスら、マグナムを率いる中心会員16人のインタビュー他、知られざる内側に初めてカメラが潜入。輝かしい歴史を振り返りつつ、新たな時代へ意欲をみなぎらせる彼らの姿をとらえた作品です。

ナウオンメディア株式会社 03-3406-1812 magnumphotos-movie.net

友の会割引 | 三越カード割引 | アトレカード割引

## 東京都写真美術館で観る映画シリーズ



○上映スケジュール: 12月1日(土)~1月18日(金)  
※年内は12/28 17:00の回まで、お正月1/2、3、4は特別プログラムになります。詳細は決まり次第ホームページに掲載します。  
○上映時間: 11:00/13:00/15:00/17:00/19:00  
○料金: 一般 1,800円/学生 1,500円  
中学生以下・シニア(60歳以上) 1,000円

## Film Series Vol.36 ハーフエズ ペルシャの詩(うた)

### 見る者すべての胸を締めつける イラン版「ロミオとジュリエット」

顔を合わせることなく、詩を通じて恋に落ち、立ち場の違いから引き裂かれる運命の恋人。身にまとう美しい衣裳や雄大な砂漠の景色を背景に、ゲートにも影響を与えたとされる実際の詩人ハーフエズをはじめ、ペルシャの詩人たちによる詩句に彩られた、美しい恋物語。麻生久美子海外初進出作品です。

ビターズ・エンド 03-3462-0345 www.bitters.co.jp/hafez/



○上映スケジュール: 1月19日(土)~  
○上映時間: 10:20/12:30/14:40/16:50/19:00  
○料金: 一般 1,800円/学生 1,500円  
中学生以下・シニア(60歳以上) 1,000円

## ミュージアムショップ「ナディッフ バイテン」



◎お問い合わせ:  
「ナディッフ バイテン」  
直通 03-3280-3279  
[www.syabi.com/shop/shop.html](http://www.syabi.com/shop/shop.html)

## MUSEUM DIARY



マグナム・フォト創立60周年にちなみ、当館のコレクションから選りすぐった写真を掲載したダイアリーを発売中です。写真集としてもお楽しみいただける美しい装丁です。

ミュージアムダイアリー ¥2,100(税込)

## カフェ「シャンブル クレール〜明るい部屋〜」



◎お問い合わせ:  
カフェ「シャンブル クレール」  
直通 03-5798-2218  
[www.syabi.com/cafe/cafe.html](http://www.syabi.com/cafe/cafe.html)

## Beer



今年も間もなくベルギーから冬期限定のノエルビールが届きます。高アルコールで濃厚な味わいが特徴です。12月上旬入荷を予定しています。お楽しみに。

サンフーヤン ノエル 330ml alc.9% ¥1,100(税込)

## 維持会員 Membership

東京都写真美術館の活動をご支援いただくため、次の企業・団体に維持会員としてご入会いただきました。 ※詳しくはホームページをご覧ください。 <http://www.syabi.com/member/member.html>

- 特別維持会員
    - 株式会社アイテム
    - 株式会社キタムラ
    - キヤノン株式会社
    - 株式会社資生堂
    - 東京電力株式会社
    - 凸版印刷株式会社
    - 株式会社ニコン
    - 株式会社リコー
  - 維持会員
    - 株式会社&S BBDO
    - 株式会社アサツーデー・ケイ
    - 旭化成株式会社
    - 朝日新聞社
    - 朝日生命保険相互会社
    - アサヒビール株式会社
    - 朝日放送株式会社
    - 株式会社アシックス
    - アップルジャパン株式会社
    - アデコ株式会社
    - 株式会社アマナ
    - イー・キャンティ株式会社
    - エスエヌ製菓株式会社
    - 株式会社NHKアート
    - 株式会社NHKエデュケーショナル
    - 株式会社NHKエンタープライズ
    - 株式会社NHKプロモーション
    - 株式会社NTTデータ
    - 株式会社NTTコム
    - NTT都市開発株式会社
    - 株式会社エフエム東京
    - エルメスジャパン株式会社
    - 株式会社大塚商会
    - 株式会社大林組
    - オムロン株式会社
    - オリックス株式会社
    - オリパス株式会社
    - 株式会社オンワード樞山
    - 科研製薬株式会社
    - カシオ計算機株式会社
    - 鹿島建設株式会社
    - 株式会社角川書店
    - カトレック株式会社
    - カルピス株式会社
    - キッコーマン株式会社
    - 株式会社紀伊國屋書店
    - キハラ株式会社
    - キャンマークetingジャパン株式会社
    - 株式会社キューコムコミュニケーションズ
    - 共同印刷株式会社
    - 社団法人共同通信社
  - 協和醸造工業株式会社
  - キリンホールディングス株式会社
  - 株式会社講談社
  - 株式会社光文社
  - 株式会社国書刊行会
  - 株式会社コスモスインターナショナル
  - 株式会社コーセー
  - コダック株式会社
  - コニカミノルタホールディングス株式会社
  - 株式会社ザ・アール
  - サッポロホールディングス株式会社
  - 産経新聞社
  - サンリー株式会社
  - 株式会社サンローズ
  - 株式会社ジェイアール東日本企画
  - ジェイティービー印刷株式会社
  - 株式会社シグマ
  - 株式会社実業之日本社
  - 清水建設株式会社
  - 株式会社写真弘社
  - シャネル株式会社
  - 株式会社集英社
  - 株式会社主婦と生活社
  - 株式会社主婦の友社
  - 読報社写真印刷株式会社
  - 株式会社小学館
  - 松竹株式会社
  - 信越化学工業株式会社
  - 株式会社新潮社
  - 株式会社スタジアム
  - 株式会社スタジアム
  - 株式会社スタッフサービス・ホールディングス
  - 住友化学株式会社
  - 株式会社生活の友社
  - セイコー株式会社
  - 株式会社青春出版社
  - 株式会社世界文化社
  - 積水ハウス株式会社
  - 株式会社絶対空間
  - セントラル警備保障株式会社
  - 全日本空輸株式会社
  - ソニー株式会社
  - 第一建設サービス株式会社
  - 第一三共株式会社
  - 第一法規株式会社
  - 大成建設株式会社
  - 大日本印刷株式会社
  - 株式会社竹中工務店
  - 株式会社タムロン
  - 株式会社丹膏社
  - 株式会社中央公論新社
- 中外製薬株式会社
- 株式会社ディー・ビー・オー
- 株式会社デー・オー・ダブリュー
- 株式会社テレビ朝日
- 株式会社テレビ東京
- 電源開発株式会社
- 株式会社電通
- 東亜建設工業株式会社
- 東京ガス株式会社
- 東京急行電鉄株式会社
- 東京工芸大学
- 東京新聞・中日新聞社
- 株式会社東京スタディオ
- 東京総合写真専門学校
- 東京テアトル株式会社
- 東京都競馬株式会社
- 株式会社東都
- 株式会社東海
- 株式会社東芝
- 東宝株式会社
- 株式会社東北新社
- 株式会社徳間書店
- 図書印刷株式会社
- 戸田建設株式会社
- トヨタ自動車株式会社
- 日外アソシエーツ株式会社
- 日油株式会社
- 日産自動車株式会社
- 日本オラル株式会社
- 株式会社日本カメラ社
- 日本経済新聞社
- 日本興亜損害保険株式会社
- 株式会社日本広告社
- 社団法人日本広告写真家協会
- 日本写真印刷株式会社
- 社団法人日本写真家協会
- 社団法人日本写真協会
- 日本写真芸術専門学校
- 日本写真作家協会
- 社団法人日本写真文化協会
- 日本大学芸術学部
- 日本たばこ産業株式会社
- 日本テレビ放送網株式会社
- 日本ハム株式会社
- 日本ヒューレット・パッカド株式会社
- 株式会社ニッポン放送
- 日本レコードマネジメント株式会社
- 日本ロレックス株式会社
- 株式会社博報堂
- 株式会社林原生物化学研究所
- びあ株式会社
- 東川岡
- 東日本旅客鉄道株式会社
- 光写真印刷株式会社
- 株式会社ビックカメラ
- ヒノキ製菓株式会社
- 株式会社ファーストリテイリング
- 株式会社ファンケル
- 富国生命保険相互会社
- 富士重工株式会社(スバル)
- 富士ゼロックス株式会社
- 株式会社フジテレビジョン
- 富士フイルム株式会社
- 株式会社扶桑社
- 株式会社ブラザークリエイト
- 株式会社ブリヂストン
- 株式会社プリンスホテル
- 株式会社フレームマン
- 株式会社文藝春秋
- 株式会社ベネッセコーポレーション
- ベンタックス株式会社
- 株式会社ホテルオークラ
- 株式会社堀内カラー
- 本田技研工業株式会社
- 毎日新聞社
- 株式会社マガジンハウス
- 松下電器産業株式会社
- マミヤ・デジタル・イメージング株式会社
- 丸善株式会社
- 三井倉庫株式会社
- 株式会社三越
- 三菱地所株式会社
- 武蔵大学
- 森ビル株式会社
- モルガン・スタンレー証券株式会社
- モンブラン ジャパン株式会社
- 社団法人日本写真家協会
- ユニバー・ジャパン株式会社
- 横河電機株式会社
- 株式会社吉野工業所
- 株式会社ヨドバシカメラ
- 読売新聞社
- ライオン株式会社
- ライカカメラジャパン株式会社
- 株式会社ワコール

(平成19年10月現在・五十音順)

## 友の会 Supporter

東京都写真美術館では、随時新規会員の募集をしています。展覧会のご招待・割引、上映映画の割引、写真美術館ニュースeyesの送付をはじめ、たくさんの特典をご用意している他、関連施設での割引もございます。開館時間(10:00~18:00)に当館1階チケットカウンター横「友の会カウンター」にてご入会いただけます。皆さまのご入会を心よりお待ちしております。

|                 |        |
|-----------------|--------|
| 年会費             |        |
| 個人会員            | 2,000円 |
| 家族会員同伴者1名まで     | 3,000円 |
| シルバー会員(65歳以上の方) | 1,000円 |

- 受付は当館1階チケットカウンター横の「友の会カウンター」のみとなっております。
- 会員証の有効期限は、翌年の同月末日までです。 ※詳細は当美術館までお問い合わせください。
- TEL:03-3280-0099

| 友の会特典      | 特典内容   |
|------------|--|
| 収蔵展・映像展    | 無料 ※会期中はいつでもご覧いただけます ※家族会員の方は、同伴者1名まで無料                              |
| 共催展・企画展    | 割引 ※御利用いただけない場合もございます  |
| ミュージアムショップ | 5%引き ※一部商品は除きます  |
| カフェ        | ブレンドコーヒー、ダーズリン紅茶を200円引き ※詳細はお尋ねください                                  |
| その他        | ○写真NEWS「eyes」送付 ○1階ホール(実験劇場)の割引 ○ロコ渋谷店が1,000円以上のお買上につき5%割引(洋書・洋雑誌)など |